

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

してはいけない

必ず守る

■施工上のご注意

■使用上のご注意

警告

!

長期間の使用で取付部(ねじ、ナット)などの傷みやゆるみがないか、定期的に点検してください。傷みがある場合は交換し、ゆるみがある場合は適正締付トルクにて増締めをしてください。破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。

注意

!

次のような場所では使用しないでください。故障・誤動作の原因になります。

・高温、高湿となる場所

・腐食性ガスのある場所

・振動、衝撃のある場所

・可燃性ガスのある場所

・塵埃やオイルミストが多い場所

・ノイズ(電界、磁界)の強い場所

・導電性粉塵(カーボン繊維・金属粉など)のある場所

・有機溶剤のかかる場所

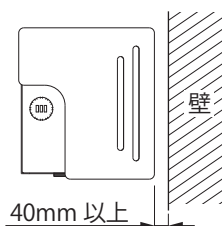
・塩分を多く含んだ場所

!

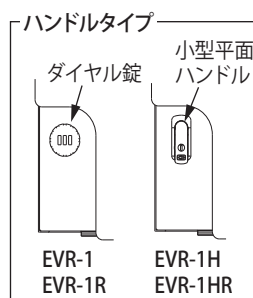
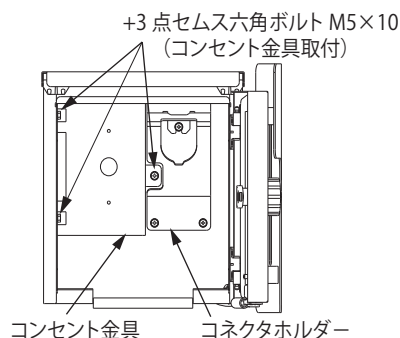
コンセント回路は専用回路とし、主幹ブレーカまたは分岐ブレーカには漏電ブレーカをご使用ください。

■その他のご注意

- 本製品は「EV・PHEV 充電用接地屋外コンセント WK4322 シリーズ、WK4311 シリーズ パナソニック株式会社製(以下コンセントと記載します。)」取付用です。
コンセント施工方法の詳細は、パナソニック株式会社の Web サイト(<https://panasonic.jp>)をご覧ください。
- 本製品は壁掛け専用の EV・PHEV 用コンセント収納キャビネットです。使用目的以外で使用しないでください。
- 壁面取付の際は、必ず背面パッキン(付属品)を貼付け、キャビネットの壁面取付穴および、壁面に接する底面以外の外周部 3 か所にシール等で防水処理を施してください。
- キャビネットを壁際に取り付ける場合、蝶番側は少なくとも 40mm 以上の隙間(右図)を空けてください。それ以下の隙間では扉が開かなくなります。



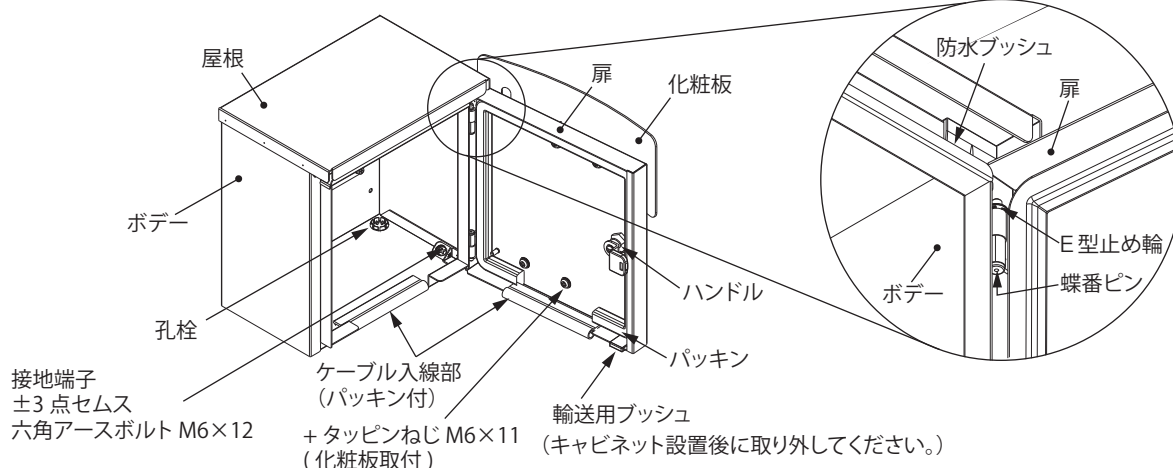
■各部の名称・仕様



屋内・屋外兼用:IP44※	
塗装色	ボデー・扉:ライトベージュ塗装 LB色 (5Y7/1) 化粧板:ブラウン塗装 (10YR4/1)
材質	ボデー・扉:鉄 化粧板:アルミ
キャビネット板厚	扉1.2mm ボデー 1.2mm 化粧板2.0mm
ハンドル	ダイヤル錠 (3桁ダイヤル式):EVR-1・1R 小型平面ハンドル (キー No.N200):EVR-1H・1HR
扉形式	片扉

※充電部に対してのIP性能となります。

背面取付穴および背面角穴は保護等級の判定に含めていません。



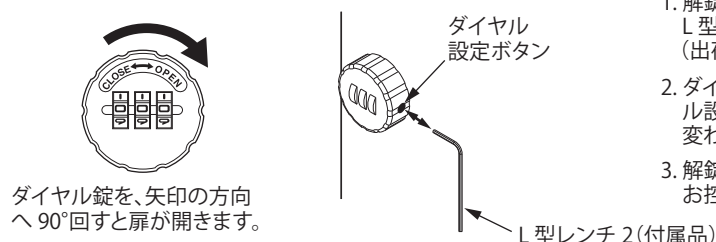
●付属品

部 品 名	数量	用 途	対象機種
背面パッキン	1 コ	背面貼付	全機種
ラベル EVR ※	1 枚	電気自動車用 充電スタンドマーク	
+ 皿タッピンねじ M4×10	2 コ	コンセント取付	
ケーブルコネクタ BP14-21D2	1 コ	電線の保護および固定	
L 型レンチ 2	1 コ	解錠番号設定用	EVR-1/EVR-1R (ダイヤル錠タイプ)
キー (キー No.N200)	1 コ	ハンドル施錠用	EVR-1H/EVR-1HR (小型平面ハンドルタイプ)
WK4322S (EV・PHEV 充電用接地屋外コンセント) パナソニック株式会社製	1 コ	WK4322S 取扱説明書参照	EVR-1R/EVR-1HR (コンセント付タイプ)
取扱説明書 (本紙)	1 部	—	全機種

※ラベル EVR はお好みにより任意の位置に貼付けを行ってください。

■ハンドルの操作方法

●ダイヤル錠 (適応機種:EVR-1/EVR-1R)



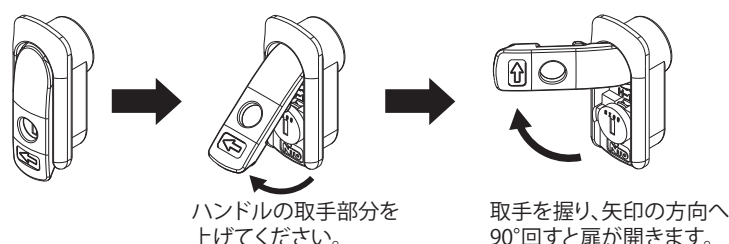
解錠番号設定方法

1. 解錠番号が合っていることを確認し、ダイヤル設定ボタンを L 型レンチ 2 (付属品) で押します。
(出荷時の初期設定は 000 です。)
2. ダイヤル設定ボタンを押したまま、好みの番号に設定し、ダイヤル設定ボタンから L 型レンチ 2 (付属品) を引くと解錠番号が変わります。
3. 解錠番号を忘れると開錠できなくなります。下記に解錠番号をお控えの上、大切に保管してください。

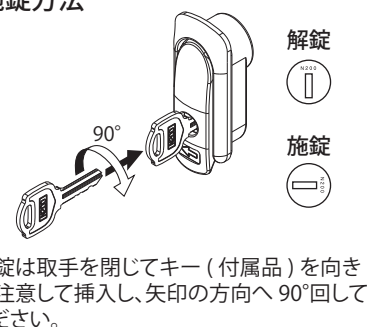
解錠番号
お客様控え

--	--	--

●小型平面ハンドル (適応機種:EVR-1H/EVR-1HR)

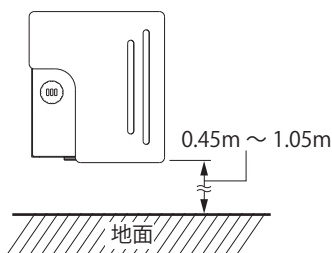


施錠方法



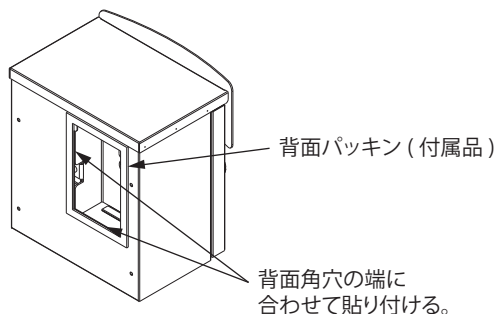
■キャビネット設置高さについて

屋外用コンセントの設置高さは、地上 0.6m ～ 1.2m (キャビネット底面からコンセントの嵌合面まで約 0.15m です。) が推奨されています。
(一般社団法人 日本配線システム工業会 EV 普通充電用電気設備の施工ガイドライン)
コンセント金具を使用する場合、図に従って設置してください。



■背面パッキン取付方法

背面取付けの際は、必ず背面パッキン (付属品) を図の位置に貼り付けてください。

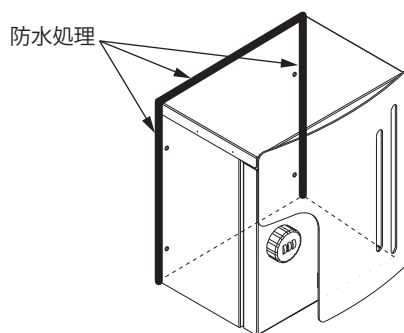
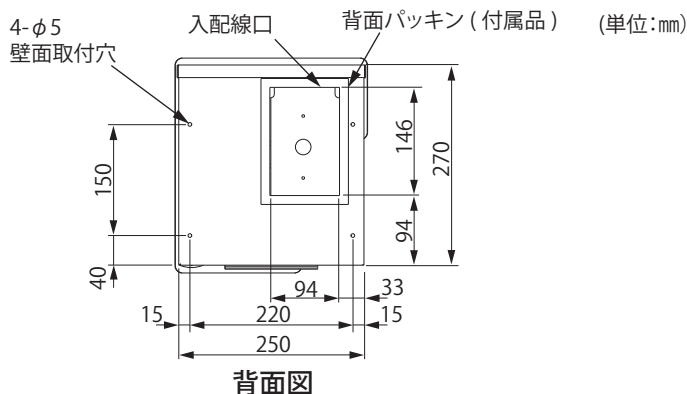


■キャビネットの取付方法

- キャビネットの設置には壁面取付穴をご利用ください。

【ご注意】 取付ねじは呼び径 4.1 または 4.5 の木ねじをお奨めいたします。木ねじの締付トルクは、取り付ける壁面により異なりますので、緩みやねじの空転などがないよう、確実に締付けを行ってください。

- 壁面取付の際は、必ず背面パッキン (付属品) を貼り付けてください。
- キャビネットの壁面取付穴および、壁面に接する底面以外の外周部 3 か所に、シール等で防水処理を施してください。



⚠ 注意

設置の際は、化粧板固定部を必ず増締めしてください。
締め付けが不十分な場合、化粧板の脱落などによりけがのおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m※
M6	3.0～4.0

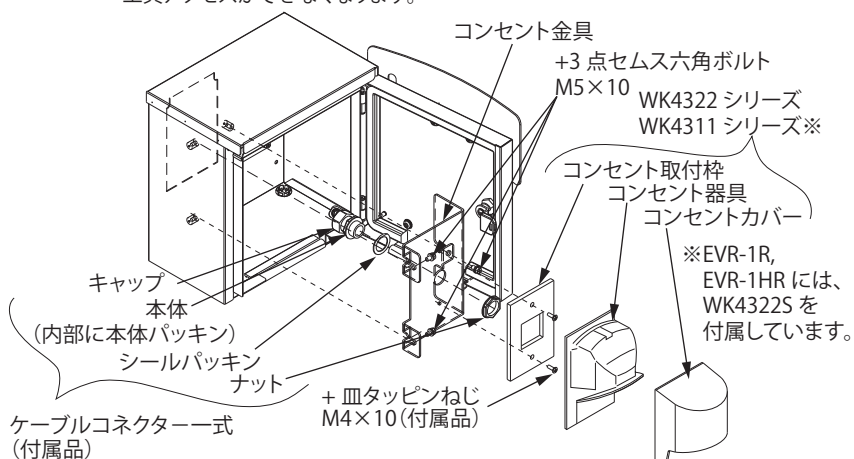
※ただし、タッピンねじにおいて締め付時の初期トルクはこの限りではありません。

強風を受ける場所、振動がある場所で使用する場合は、化粧板固定部に別途ゆるみ止め対策を施してください。
破損、落下、所定の IP 性能が得られないなどの原因になります。

■コンセント取付方法

- +3 点セムス六角ボルト M5×10 を外し、コンセント金具を外してください。
- コンセント金具にケーブルコネクタ一式 (付属品) を取り付けてください。
- コンセント取付枠をコンセント金具に、+ 皿タッピンねじ M4×10 (付属品) で取り付けてください。
- ケーブルコネクタのキャップを緩め、ケーブルコネクタに電線を通してコンセント器具に結線を行ってください。
- コンセント器具をコンセント取付枠に取り付けてください。
- ケーブルコネクタのキャップを電線が固定されるまで、しっかりと締め付けてください。
電線径や電線の種類によって、ケーブルコネクタのキャップを締め付けても電線周りに隙間ができる場合は、電線に絶縁テープなどを巻き、ケーブルコネクタのキャップを締め付けてください。
- コンセント金具をキャビネットのボデーへ、+3 点セムス六角ボルト M5×10 で取り付けた後、コンセントカバーをコンセント器具へ取り付けてください。

【ご注意】 コンセントカバーを先に取り付けると、+3 点セムス六角ボルト M5×10 への工具アクセスができなくなります。



⚠ 注意

使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締め付トルクにて締め付けてください。
締め付けが不十分な場合、破損、落下、IP 性能を得られないなどの原因になります。
また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締め付トルク N・m※
M4	1.5～2.5
M5	1.8～2.9

※ただし、タッピンねじにおいて締め付時の初期トルクはこの限りではありません。

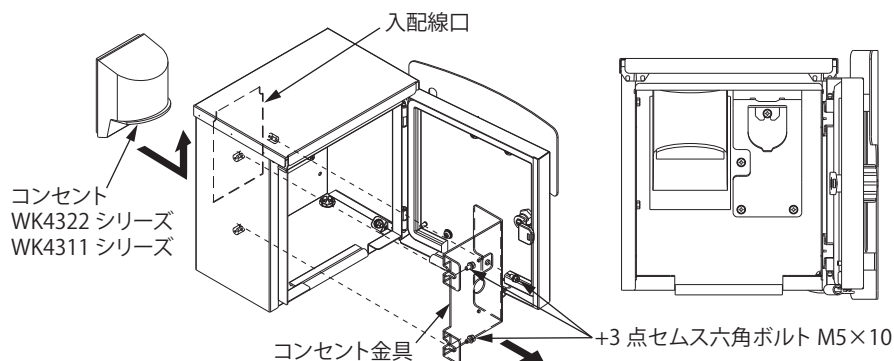
コンセント回路は専用回路とし、主幹ブレーカまたは分岐ブレーカには漏電ブレーカをご使用ください。

■既にコンセントが壁面設置されている場所への取付方法

- 1.+3 点セムス六角ボルト M5×10 を外し、コンセント金具を外してください。
2. キャビネットの入配線口を利用し、コンセントにキャビネットを被せてください。
3. キャビネットを下にスライドさせてコンセントをはめ込んでください。
4. 壁面にキャビネットの取付けを行ってください。

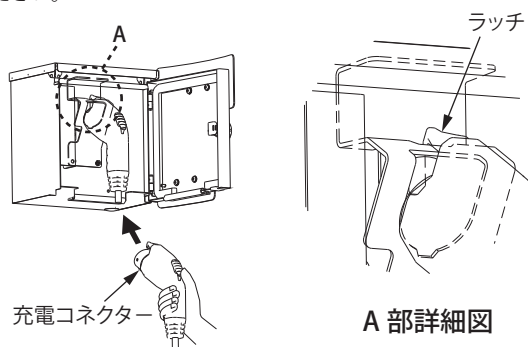
・キャビネットの設置には壁面取付穴 (P3. キャビネットの取付方法参照) をご利用ください。

【注意】 取付ねじは呼び径 4.1 または 4.5 の木ねじをお奨めいたします。木ねじの締付トルクは、取り付ける壁面により異なりますので、緩みやねじの空転などがないよう、確実に締付けを行ってください。



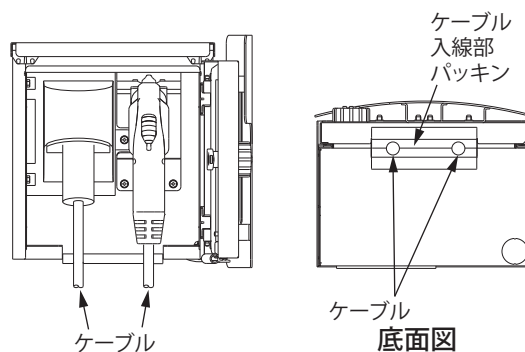
■コネクタホルダーについて

下図のように充電コネクタのラッチを引っ掛け部に確実に引っ掛けてください。引っ掛けが浅いと、充電コネクタが落下するおそれがあります。取り外す際は、充電コネクタを軽く持ち上げ、ラッチを引っ掛け部から外してください。



■底面ケーブル入線部について

コンセントおよび充電コネクタのケーブルは、キャビネット底面のケーブル入線部パッキンよりキャビネット外部へ出してください。



お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。

TEL (0561) 64-0152

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- ・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2019年8月
B200610921
SK-144A

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原 2201 番地